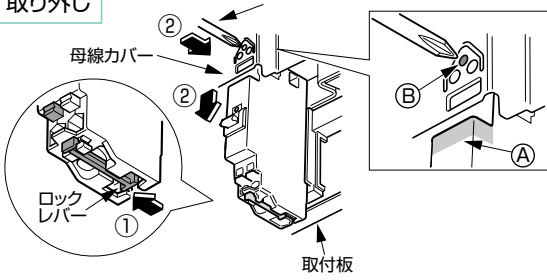


2 分岐ブレーカの取り外し・取り付け、電圧切り替え

1. 分岐ブレーカの取り外し・取り付け

取り外し

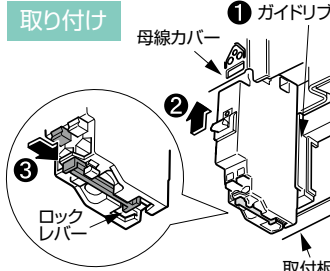


- ①ロックレバーを上げます。
- ②指をA部にかけ、ブレーカを引きながら、プラスドライバーでB部を押し、ブレーカを取り外す。
※プラスドライバーは、2番または3番を使用してください。
※ブレーカの脱落に注意してください。

注意

必ず主幹ブレーカを切ってください。感電のおそれがあります。
母線カバーは取り外すことができません。
無理に取り外そうとすると、感電のおそれがあります。

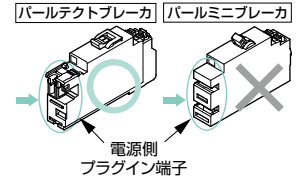
取り付け



- ①ブレーカをガイドリップの間に置きます。
- ②ブレーカをガイドリップに沿って奥まで差し込みます。
- ③ロックレバーを下ろします。

分岐ブレーカの増設、交換について

分岐ブレーカの増設、交換の際は、パールテクトブレーカをご使用ください。電源側プラグイン端子の形状が異なるため、従来のパールミニブレーカは取り付けできません。



※一部分電盤には、ガイドリップ形状が異なるものがあります。

2. 分岐ブレーカの電圧切り替え [2P2E型 (100/200V) のみ]

■200V回路への切り替え方法

- (1)分岐ブレーカ(2P2E)を取り外します。
(上記、取り外し方法を参照してください)
- (2)電圧切替端子部①を指で矢印方向にスライドします。
必ず端(カチッと音がする)までスライドさせてください。
- (3)電圧確認表示②が200V(赤色)になっていることを確認します。
電圧確認表示②が100Vのままの場合は異常です。
本ブレーカを使用しないでください。
- (4)カバー裏面に貼付している200Vシール③を貼付します。
- (5)分岐ブレーカ(2P2E)を取り付けます。
(上記、取り付け方法を参照してください)
- (6)電線接続前にブレーカの負荷側で電圧を確認してください。

注意

2P2E型(100/200V)のブレーカを使用してください。
必ず主幹ブレーカを切ってください。
感電のおそれがあります。

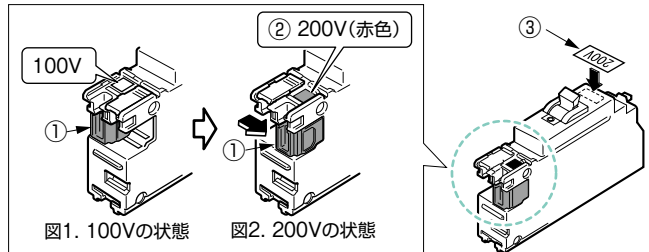


図1. 100Vの状態 図2. 200Vの状態

3. 電圧測定

■分岐ブレーカ1次側の電圧測定方法

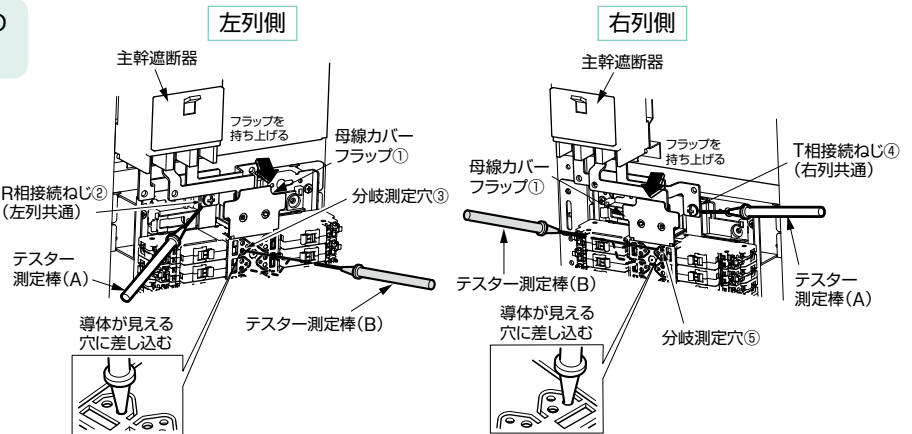
負荷機器に電圧を供給する前に各分岐回路の電圧を測定することができます。

●分岐ブレーカ左列側の電圧を測定する場合

- (1)母線カバーフラップ①を持ち上げ、テスターの測定棒(A)をR相接続ねじ②に当てます。
- (2)テスターの測定棒(B)を分岐測定穴③の導体が見える穴に差し込み、各分岐回路の電圧値を読み取ります。

●分岐ブレーカ右列側の電圧を測定する場合

- (1)母線カバーフラップ①を持ち上げ、テスターの測定棒(A)をT相接続ねじ④に当てます。
- (2)テスターの測定棒(B)を分岐測定穴⑤の導体が見える穴に差し込み、各分岐回路の電圧値を読み取ります。



◆各部の名称(分岐ブレーカ パールテクトブレーカ)

